

令和3年12月発行 第240号



みどりのアスパラガス

北広島市しょうがい児者を持つ親の会
発行責任者 加藤裕子

<http://oyanokai.sunnyday.jp/>



🇯🇵 令和3年度障害児者の学び・体験推進事業



「ビッグフラッグアート制作事業」参加報告 🇯🇵

齊藤

去る11月21日(日)、中央公民館にて行われた「ビッグフラッグアート制作事業」に、親の会からは6家族、15名が参加いたしました。初めに、よしもとクリエイティブ・エージェンシー所属のSatolyさんからご挨拶がありました。Satolyさんのこの企画に対する熱い想い、アートを通じた共生社会への想いを感じられました。

参加者の皆さんは、Satolyさんとコミュニケーションをとりながら着色作業を進め、またそれぞれ自由なイラストを描いたりしながら、作業を行いました。作業中、Satolyさんの『寝だめができるお話』を聞きながら、楽しい、ワイワイとした時間のなか、作業は完了いたしました。

総勢100名以上が参加する「ビッグフラッグアート」が完成した後は、市役所庁舎に掲揚されます。「僕が」「私が」「書いた」「色を塗った」ところがどんな風に見えるのでしょうか。実際に掲揚された際は、感慨もひとしおになるのでは…と思います。

次回は、チャレンジボッチャ大会が2月26日(土)に予定されています。

北広島市障がい児者の学び・体験推進事業〈道教委受託事業 障がい者の生涯学習推進コンソーシアム形成事業〉は、文部科学省委託事業「学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究事業(3カ年)」を道教委生涯学習課が受託、行政、民間、高等教育機関等における地域連携コンソーシアムを構成しフレンドリーセンター事業の再構築を図り、研修会やコンファレンス、モデルプログラムの開発等を実施するものです。

この事業の成果として、障がい者の地域とのつながりの強化、障がい者の生涯学習機会の創出などフレンドリーセンター事業の再構築が図られること、市民の障がい児者への理解と共生社会の実現に向け、関係機関・団体や高等教育機関との連携による新たな事業展開が掲げられています。



■これまで青空会では、お子さんがコロナ感染された保護者さまの体験、家族が頑張らなければならないと考える厳しい状況、複数の事業所を利用している場合にコロナ感染陽性者発生に伴う対応がそれぞれの事業所で違いがあって戸惑ったこと、サービス提供が休止され、お子さんとご自宅で過ごした日々の中で感じたさまざまな思いや疑問などをお聞きし、意見交換をして来ました。■

新型コロナウイルスと私たちの生活 Part4

コロナ陽性になったら、自宅療養するしかなかった。何も支援はなかった。

施設や事業所さんだって、それぞれ施設を守らないと行けない！ それは十分わかるが…

もし親が感染したら、どうなるのかと考える。でも、赤ちゃんや幼児の居る一般の家庭でも、同じことが言える。障害だけに特化したことではないよね。

感染対策のための、複数の事業所の利用制限は、本人も家族もきつい状況があった。

施設や事業所によって対応が違うのは何故？

本人も家族も皆感染した場合、障がいのある本人はどうなるのだろうか。どこかに、誰かに、相談できるのか、相談して良いのだろうか？

利用している事業所でコロナ陽性者が出ると通所や他のサービスが利用できなくなる。仕方がないのはわかっているが、やっぱり大変な毎日だった。

自宅待機の際に、孤立感を感じると、余計に不安が募る。

福祉施設等で陽性者、濃厚接触者が出た際の対応は、国、道などから一律の対応が指示されているのかな？国からの通達ってどうなっているの？

これまで誰も予想していなかった状況下であるから、個人が、家族が、頑張って乗り切るしかない。

あいまいなルールではなく、みんなが納得できるルール作りを。

予想のつかないことは、ただただ不安。

日頃から色んな人とつながっていることで、非常時の不安が、少しは軽減するのではないか。

■青空会での意見交換を踏まえて、他の地域での状況について、北海道手をつなぐ育成会にお尋ねしました。今回のコロナ禍において、各地の育成会や会員からの問い合わせや相談事は無かったかお聞きしたところ「無かった」とのこと。当会会員における出来事やそこでの思いなどをお話ししてみましたが、①各法人事業所でのことは、経営のこともあってどうして欲しいとは言えないこと、②育成会の会長名で申し入れをしてみることはできても、効果は期待できないとの返答でした。市福祉課でもお話しをお聞きしましたが、各法人事業所での対応の違いについては、育成会と同様の返答でした。

現在は感染者数が減少していますが、今回のコロナ感染の時期を通して感じたり考えたりしたこと、実際にあった困り事など、多くの会員さんと情報共有し、関係機関にも働きかけながら、今後に繋げていきたいと考えています。青空会に参加できなかった皆様も何かご意見等ありましたら、役員までお寄せください。

加藤



第16回全道肢体不自由児者研究大会 参加報告



11月27日に、第16回全道肢体不自由児者研究大会に参加してきました。令和2年に旭川にて全道肢体不自由児者福祉大会が開催予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により延期が続き、その代替事業として本大会は開催されました。日本グループホーム学会代表の光増晶久氏を講師として招き、「我が子の安心した生活を求めて」をテーマに、「身体障害者も含めた障害のある人の地域生活支援—グループホーム（共同生活援助）を中心として」などの講演や「親の高齢化による安心できる生活環境について」の意見交換が行われました。親が子供と一緒に住みたいという希望や、家族で暮らしている家を、将来グループホームとして利用する方法や、公営住宅を建設する際、障害者住宅と共に障害者グループホームも設ける（運営は法人等に委ねる）などの提案もあり、とても印象に残りました。

井上

日本自閉症協会(<http://www.autism.or.jp/>)動画配信による情報提供

1. 「自閉症の基礎理解」シリーズ <座談会> **New!**

<概要> 「自閉症の基礎理解」(全6話)では、自閉症について考えるとき、大事なことは何なのか、あらためて自閉症についての基礎理解として何を知っておくべきなのかについて、各分野のリーダーとしてご活躍の皆様のお話を伺いました。

○第1話 「診断」(約19分) <https://youtu.be/14a8m3jgamw>

「自閉症の診断」について、時代とともに変化していることはなにかや最近の調査についてお話いただきました。

○第2話 「原因と俗説」(約13分) <https://youtu.be/CZiU8WoYd6A>

自閉症の原因や対応についていろいろな説がセンセーショナルに取り上げられることがあります。そうした多くの情報についてどう考えていけばいいのでしょうか。

【今後配信予定】(仮題)

第3話「乳幼児期」 第4話「学齢期」 第5話「思春期・青年期」 第6話「知的障害程度別の課題」

2. 「新型コロナ禍での自閉症の人たちの暮らしを考える座談会」

<概要>

新型コロナウイルスの蔓延に伴う生活様式の変化について、自閉症児者の様々な症例を見てきた専門ドクター達が、これからの暮らし方や新たな価値観について語っております。

○本人・家族編(約50分) ○支援者・ストレス編(約30分)

🎉 新年会・成人を祝う会のご案内 🎉

- 日時 令和4年1月10日月曜日（祝）10時30分～12時00分
1時間程度を予定しています。（受付は午前10時15分から）
- 会場 北広島芸術文化ホール（花ホール）2階 活動室1・2
北広島市中央6丁目2番地1 TEL011-372-7667
※施設駐車場あり（施設利用証印で無料になります）
- 参加費 大人（中学生以上） 300円／1名
子供（小学生） 200円／1名
幼児（4歳以上） 200円／1名
※当日、会場受付にて集めます。
- 内容 ひもひきくじゲーム・ビンゴゲーム
（今年度は、会食はせずお弁当と飲み物をお持ち帰りいただきます。）



- 参加申し込みは、12月15日（木）まで FAX かショートメールでお申し込み下さい。
申込先（大西 FAX 011-377-5242 ショートメール 090-2053-5242）

🍁活動報告🍁

- | | | | |
|--------|--|--------|-------|
| 10月13日 | 北広島市障がい者自立支援協議会生活支援部会 | (ZOOM) | 斉藤 |
| 10月14日 | 北広島市障がい者自立支援協議会子ども部会 | (ZOOM) | 加藤 |
| 10月25日 | 北広島市障がい者自立支援協議会 全体会 | (ZOOM) | 加藤・斉藤 |
| 10月28日 | 令和3年石狩圏域障がい者が暮らしやすい地域づくり委員会（オンライン） | | 加藤 |
| 10月31日 | 令和3年度 第1回全道父母の会会長・事務局長会議 | | 井上 |
| 11月11日 | 役員会 | | |
| 11月15日 | 北広島市障がい者自立支援協議会 全大会 | (ZOOM) | 加藤・斉藤 |
| 11月21日 | 令和3年度
障がい児者の学び・体験推進事業「ビッグフラッグアート制作事業」参加 | | |
| 11月27日 | 第16回全道肢体不自由児者研究大会 | | 井上 |

この会報は、会の趣旨に賛同下さる方々に、私たちの活動を広く紹介する目的で発行しています。
ほかの目的に使用しないよう、また、破棄する場合は取り扱いにご注意下さるようお願いいたします。

🧑🏻会報担当🧑🏻

中川 斉藤 佐藤 井上

